

Ⅲ 財務省政策評価懇談会における意見
(全体に通じるもの)

【財務省政策評価懇談会における意見（全体に通じるもの）】

- コロナ禍における業務の評価のあり方について、通常通りの業務ができない中、職員の間には様々な苦労があると思う。そういったこともケアをしながら、今後につなげていけるようにしてもらいたい。
- 財政の評価がAからCとなっているところに、非常に強い印象を受けた。大きな時代の変化の中で、これまでの評価の仕方などを議論・検討する時期に来ているのではないか。
- 財政運営に関して、AからCという評価をしたことは、財政の危機感の表明ではあるが、他方で、実績評価の目標として、毎年実現できているかをチェックするという評価のやり方が危機にさらされているのではないか。
- 従来の役所の単位をまたがる問題が多くなっているため、お金という横串を持っていた財務省を含めて、コントロールができなくなっている状況について、見直しの議論が必要である。

